

ヒメカツオブシムシ

分類 鞘翅目カツオブシムシ科

学名 *Attagenus nuiicolor*

英名 Black carpet beetle



■解説

本種の成虫は花上で花蜜や花粉を食す。幼虫は野外では鳥の巣などで見られるが、屋内においては、動物性・植物性食品を広く加害する害虫として重要視されている。幼虫の餌となる動物性のものには、蚕の繭、生糸、絹織物、革製品、鰹節、乾魚、乾燥動物昆虫標本などがあり、植物性のものには、穀粉、穀粒、豆、貯蔵タバコなどがあるが、植物性の餌のみでは成虫まで成長することが出来ない。本種が卵から成虫になるまでに要する期間は6ヶ月～3年と、温度、餌の栄養状態でも異なり、また個体差が大きい。通常、温帯地方では年1世代のものが多い。

■体長¹⁾

卵 : ー
幼虫 : 約 9mm
蛹 : 約 5.5mm
成虫 : 約 4 mm

■産卵数¹⁾

産卵数/生涯 : 40～80 粒

■ライフサイクル¹⁾

卵 : 10～18 日
幼虫 : 300 日余り
蛹 : 10～20 日
成虫 : 1 ヶ月

■発育零点 (発育停止温度)

ー

【参考文献】

1) 松崎沙和子, 武衛和雄 : 都市害虫百科, p. 82-83, 株式会社朝倉書店(1993)